



2024 年 1 月 11 日  
千代田化工建設株式会社  
川崎重工業株式会社  
東洋エンジニアリング株式会社  
日揮グローバル株式会社

## 液化水素サプライチェーンに関する FEED 業務について 川崎重工業とエンジニアリング会社3社が協定書を締結

千代田化工建設株式会社(代表取締役会長兼社長 榊田 雅和、以下、「千代田化工」)、川崎重工業株式会社(代表取締役社長執行役員:橋本 康彦、以下「川崎重工」と東洋エンジニアリング株式会社(代表取締役 取締役社長 細井 栄治、以下、「TOYO」)、日揮グローバル株式会社(代表取締役 社長執行役員 Farhan Mujib、以下、「日揮グローバル」)の4社は、日本水素エネルギー株式会社(以下、「JSE」)が取り組む液化水素サプライチェーン<sup>※1</sup>に関する FEED 業務をより効率的に進めるため、JV 協定書を締結しました。

4社は、川崎重工をリーダー会社として、豪州での液化・出荷基地(ビクトリア州ヘイスティングス地区)における、水素液化設備(60トン/日x2基)や陸用の液化水素貯蔵タンク(1万 m<sup>3</sup>x5基)、大型液化水素運搬船の出荷基地など、商用化の実現を見通すために必要なこれら設備に係る FEED(基本設計)業務を実施し、JSE が取り組む液化水素サプライチェーンの商用化実証を行う上で、最適な主要設備・仕様・コストなどを精査します。

今後は、液化水素サプライチェーンの普及に向けた動きに対し、川崎重工が持つ液化水素の貯蔵・荷役・運搬技術と、TOYO、日揮グローバル、千代田化工が持つ豊富な海外でのプラント設計・建設実績と技術的知見を集結し、本 FEED 業務を加速することで、日本が目指す 2050 年までのカーボンニュートラル実現に向けて貢献していきます。

※1:JSE は、現在 NEDO グリーンイノベーション基金事業「液化水素サプライチェーンの商用化実証」に取り組んでおり、これは 2020 年 12 月 25 日に経済産業省が関係省庁と策定した「2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に基づき、カーボンニュートラルを実現する水素の大量消費社会を見据え、クリーン水素サプライチェーンの本格的な社会実装に向けて行うものです。

### 関連リンク

グリーンイノベーション基金事業、第 1 号案件として水素に関する実証研究事業に着手  
— 商用水素サプライチェーンの構築と Power to X の実現を目指す — (2021 年 8 月 26 日付)

[https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5\\_101471.html](https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101471.html)

「液化水素サプライチェーンの商用化実証」が NEDO グリーンイノベーション基金事業で採択  
～2030 年 国際液化水素サプライチェーン構築に向けた具体的な前進～(2021 年 8 月 26 日付)

[https://www.khi.co.jp/pressrelease/news\\_210826-1.pdf](https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_210826-1.pdf)

以 上

---

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻

Email: [irpr@chiyodacorp.com](mailto:irpr@chiyodacorp.com)

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>